

報道関係者各位

PRESS RELEASE

経済ニュース番組「PIVOT」に BMZ 取締役社長・山中保が出演 独自開発「グラビングシューズ」誕生の秘密を語る動画を 9 月 10 日 16 時に公開

高機能インソール・機能性シューズの研究開発を手がける株式会社 BMZ（本社：群馬県利根郡みなかみ町、代表取締役会長：高橋毅、以下 BMZ）は、経済ニュースメディア「PIVOT」が運営するトーク企画「&TALK」に取締役社長・山中保が出演し、自社開発の「GRABBING SHOES（グラビングシューズ）」に込めた思想や開発の舞台裏を語った動画が、2026 年 9 月 10 日（木）16 時より PIVOT 公式 YouTube チャンネルにて公開されましたのでお知らせいたします。

今回の企画は「同じ 1 万歩で差がつく 運動効率は足で決まる」をテーマに、なぜ厚底ではなくあえて薄底のシューズを開発したのか、日本人に浸透していない足指の正しい使い方や「立方骨（りっぽうこつ）」の重要性、インソールメーカーである BMZ が自社で靴づくりに乗り出した理由、そして山中が描く BMZ の未来像まで、約 45 分にわたって語り尽くす内容となっています。



■ 動画概要

番組名	PIVOT「&TALK」
配信日時	2026 年 9 月 10 日（木）16:00～
配信 URL	https://www.youtube.com/watch?v=Rmi-RiHQsKg
出演者	山中 保（BMZ 取締役社長）

再生時間	約 45 分
------	--------

【主な内容】

- ・ 同じ 1 万歩で差がつく運動効率
- ・ なぜ今、あえて薄底のシューズなのか
- ・ 足について学ぶ機会が少ない日本の現状
- ・ 「土踏まずは支えない」という設計思想
- ・ 立方骨で支える BMZ 独自のシューズ構造
- ・ インソールメーカーである BMZ が靴を作った理由
- ・ グラビングシューズの機能と実際の着用体験
- ・ ベアフットシューズとの違い
- ・ シューズづくりで直面した苦労
- ・ 足を測ってサイズを選ぶ重要性
- ・ グラビングシューズの価格
- ・ BMZ が描く未来

■ 「GRABBING SHOES（グラビングシューズ）」について

「GRABBING SHOES」は、25 年以上にわたりトップアスリートの足と向き合ってきたインソールメーカー BMZ が、自社の特許技術を応用して開発したシューズです。足の外側にある「立方骨」をピンポイントで支える独自のグラビング理論（国内特許：第 7758400 号 ※着用中の効果）により、裸足で地面をつかむような感覚を引き出し、足指や足裏本来の機能を呼び覚まします。「足を守る靴から、足を使う靴へ」という新しい発想のもと、足の使い方を変えることで姿勢・重心・歩き方、ひいては全身のコンディションを整える“カラダをつくる靴”をコンセプトとしています。

	GRABBING SHOES ROOTS	GRABBING SHOES AIR
モデルタイプ	プロモデル（より大きく変化を促す）	アクティブモデル（日常使い）
価格	13,200 円（税込）	13,200 円（税込）
特徴	イタリア人デザイナー監修。ニットアッパーで靴下のようなフィット感。地面をつかむ力を最大化	26.5cm で片足約 198g の軽量設計。踵をホールドし歩く力を最大化
サイズ	21.0～29.5cm（0.5cm 刻み・ユニセックス）	21.0～29.5cm（0.5cm 刻み・ユニセックス）
カラー	オレンジ／ブラック／ホワイト／グレイ／グリーン／ターコイズ（全 6 色）	ホワイト／ブラック／ネイビー（全 3 色）

商品詳細・購入ページ：<https://bmz.jp/pages/grabbing-shoes>

■ 株式会社 BMZ 会社概要

商号	株式会社 BMZ
設立	2004 年 12 月 14 日
代表者	代表取締役会長 高橋毅
本社	〒379-1315 群馬県利根郡みなかみ町上津 1093-4
事業内容	「疲労軽減」「障害予防」「運動能力向上」を目的とした高機能インソール・機能性シューズの研究・開発・製造・卸・小売、プロスポーツ選手向けシューズ調整業務 ほか
公式サイト	https://bmz.jp

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社 BMZ

営業部 山中保 田波岳人

住所：〒379-1414 群馬県利根郡みなかみ町布施 225

TEL：0278-25-9241

（受付時間 10:00～12:00／13:30～18:00、土日祝・年末年始を除く）

公式サイト：<https://bmz.jp>